

# たてくるジオパーク

## だより

第 38 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 1 1ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉info@tatekuro.jp

🌐https://tatekuro.jp/

📘https://facebook.com/tatekuro

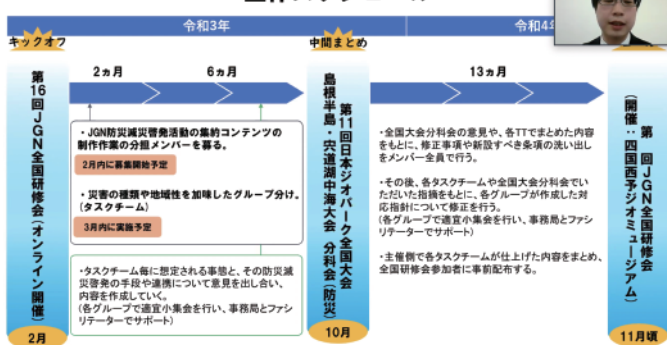
## 第16回 JGN 全国研修会（防災減災啓発）に参加しました

2021年2月6日に、四国西予ジオパーク推進協議会主催で日本ジオパークネットワーク（JGN）全国研修会がオンラインで開催されました。今回の全国研修会のテーマは「防災減災啓発」です。近年、毎年のように日本各地で災害被害が発生している状況が続いている中、日本ジオパークネットワークの防災減災啓発活動を充実させていくために今後どのような実践を図るべきかについて意見交換が行われました。

### 研修会の主旨説明 榊山 匠さん（四国西予ジオパーク）

ジオパークは防災減災啓発活動に重要な役割を果たすことができる。JGN で継続的に防災減災啓発の促進に努めていくには、これまで各地域で実践してきた取り組みや、想定される災害リスクを集約し、地域間の相互理解、防災減災啓発活動や発災時の円滑な連携を推進していく取り組みが必要。一回の研修会ではなく、複数の研修会や分科会を通して、議論と意識の共有の継続をはかっていきたい。今回の研修会はキックオフの位置付けとなる。

#### 全体スケジュール



#### 第16回JGN全国研修会（防災減災啓発）



「JGNにおける防災活動のこれまでの歩み」  
講師：杉本伸一（島原半島ジオパーク推進協議会）



「ブラハセ：災害が腑に落ちるまち歩きを」  
講師：長谷川修一（香川大学創造工学部）

2つの講演を踏まえ、グループワークを行うことで互いの地域の防災減災啓発活動を振り返る

### 講演① 杉本 伸一 さん（島原半島ユネスコ世界ジオパーク）

世界ジオパークネットワークのガイドラインには、防災教育の概念がなかったが、日本ジオパーク委員会から防災教育に関する項目・観点の採用を働きかけ採用された。変動帯である日本のジオパーク地域では災害が起こってきた。災害発生時の支援活動について JGN 災害対応方針が作られた。JGN では自然災害におけるジオパークの役割についての検討が行われてきたが、災害が起こる前の防災減災活動については、さらなる拡大が必要になっている。

### 講演② 長谷川 修一 先生（香川大学創造工学部）

ブラハセは香川大学創造工学部の学生向け課外プログラム。地域の「なぜ」について、現地を歩いて大地の成り立ちや土地利用などを見ながらの謎解きを通して災害が腑に落ちるまち歩きを心がけている。自然現象が社会の許容力を超えると災害となる。災害後の復興事業で後悔しないために、自分たちの地域の特性を踏まえて、被災前から被災後を考えて暮らし方と地域をデザインすることが必要。私たちの住んでいる地域の大部分は土砂災害と水害でできた土地。災害でできた土地を利用して生活しているがそれを知らない。防災対策とまちづくりの連携に、ジオパークが果たせる役割は大きい。



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 魚津埋没林博物館 企画展

# 山にサメ！海からスギ！ 魚津の化石展

魚津埋没林って化石！？

魚津で見つかった珪化木などを紹介しながら、化石の定義や、木が土の中で化石になるまでを考える企画展です。魚津産のサメの歯や貝の化石も展示します。

◎期間：2021年3月5日（金）～6月27日（日）

◎場所：魚津埋没林博物館テーマ館1階 ジオパークコーナー（無料エリア内）

## 山にサメ！海からスギ！ 魚津の化石展 特別講演会

化石から分かることって何だろう？ 化石の不思議について盛りだくさんの講演会です。

◎日時：2021年3月27日（土）14:00～16:00

◎会場：魚津埋没林博物館 水中展示館2階研修室

◎演題：「珪化木ー木が石なる不思議なお話」

講師 寺田和雄氏（福井県立恐竜博物館主任研究員）

「化石から探る地球と生命の歴史」

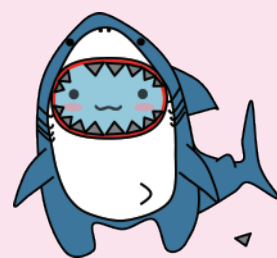
講師 佐野晋一氏（富山大学教授）

◎定員：40名（先着順）

◎参加費：高校生以上640円、中学生以下無料 ※博物館入館料

◎申し込み：魚津埋没林博物館まで電話または博物館HP予約フォームで申し込みください。

TEL：0765-22-1049



## オンラインインタープリテーション研修に参加しました

2021年2月28日に萩ジオパークが企画したオンラインインタープリテーション研修に参加しました。講師は一般社団法人をかしや 代表理事の菊間 彰 氏です。内容は、インタープリテーションについての講義や、萩ジオパークのジオガイドさんが実施するオンラインインタープリテーション体験、ワークショップなど盛りだくさんで、午前10時から午後4時までの長時間の研修でしたが、あっという間に時間が過ぎていました。

講義のなかで強く印象に残ったのは、「しゃべるな危険！」の言葉でした。これは、ガイドの際に話す内容をなるべく絞り込んで、しゃべりすぎない、参加者の自由時間を大切にすることが重要だということだそうです。知識を一方的に話すのではなく、プログラムやアクティビティなど「体験」的な手法を活用しながら五感を通して伝え、自分自身の体験・感動から「見えるもの」を通じて「見えないもの」を学んでもらい、地域のファンになってもらうことが大切とのことでした。萩ジオパークのジオガイドさんのオンラインインタープリテーション体験は、五感を通して伝えることが難しいオンライン上で、興味をもってもらえるように各所に楽しく伝える工夫がみられ、説明されるよりも想像がふくらみとても楽しかったです。

講師の菊間さんの著書。→興味のある方はぜひご覧ください。



Communication



## ジオ&みずはくツアー ー 2020



黒部川扇状地に点在する水や大地の成り立ちに関する自然・歴史の名所を巡り、見て・触れて・感じながら、地元を知る地域学芸員の解説を聞く体験型フィールドツアーです。

### 扇状地の春を散策しよう ～春の息吹を感じよう～

◎日 時：2021年3月14日（日）9:00～16:00

◎行き先：松楼閣、宮野山運動公園、墓ノ木自然公園、  
黒部市吉田科学館、杉沢の沢スギ ほか

※詳細については黒部市吉田科学館 HP をご覧ください

◎対 象：小学生以上・一般（小学校3年生以下は保護者同伴）

◎定 員：15名（先着順）

◎参加費：500円（資料、保険代等） ※小学生以下は無料

◎集合場所：①富山駅北口（9:00 集合） ②富山地方鉄道新黒部駅前（10:00 集合）

◎持ち物：弁当、飲み物 等

◎申し込み：開催日の1ヵ月前から3日前まで電話受付（受付時間 9:30～17:00）

黒部市吉田科学館 TEL：0765-57-0610



## 三笠ジオパークオンライン推進セミナーに参加しました

2021年2月21日に開催された、三笠ジオパークオンライン推進セミナーに参加しました。セミナーのテーマは「コロナ禍におけるオンラインツーリズムの可能性とリアルツーリズムとの接続」です。コロナ禍により集まることや移動が難しい状況の中、新しい取り組みとしてオンラインツアーが広まってきました。今回のセミナーでは、実際にオンラインツアーに参加した体験から感じたことなどについての報告や、三笠ジオパークのオンラインツアー、桜島・錦江湾ジオパークのオンラインツアーを見た後、全体の振り返りと討論が行われました。全体の振り返り・討論では、オンラインツアーの長所として、遠い場所でも気軽に参加できる、天候に左右されにくい、ストーリー性を高めることができる、福祉との連携が可能などの意見がでました。一方課題として、リアルツアーよりも丁寧に作り込む必要がある、料金設定が難しい、五感で体感できない、セミナーやテレビ中継のようになってしまうなどが挙がっていました。

今回のセミナーに参加してみて、オンラインツアーを実施する際の目的が、宣伝・啓発・普及などのプロモーション事業なのか、それとも利益を得るための営利事業なのかの整理が必要だと感じました。また、目的に応じてリアルツアーよりも作り込む必要性が生じてくるため、実施に向けて困難なものがあると正直なところ感じました。ただ、オンラインツアー、リアルツアーにかかわらず、観光客などツアー参加者のニーズの把握が重要であると思います。それらを一度しっかりと精査し、ツアー実施へ向けての整理が必要だと強く感じました。



秘密のドウミンSHOW\_バーチャルツアー  
ー三笠ジオパークオンライン推進セミナー



## 加賀藩の財政を支えた金銀山 ～海底火山が生んだ鉱床～

早月川の中流域、上市町にある下田金山は、江戸時代初期の加賀藩の財政を支えた「越中七かね山」の一つです。天正2年（1574年）に発見されたこの鉱山では、主に金、銀が採掘され、安土桃山時代から江戸時代初期にかけての慶長年間に最盛期を迎えたと考えられています。また、明治、大正、昭和初期にかけても金や銅などの採掘が行われた記録が残っています。

立山黒部ジオパークエリアの山間部には、この他にも複数の鉱山跡があり、かつて多くの金銀などが採掘されていました。これらの鉱脈は、今からおよそ2000万年前に日本海が拡大した際の活発な海底火山の活動によってつくられました。もともと、地下深くの岩盤中には多くの金属が含まれています。火山周辺では、地下水がマグマの熱によって温められた熱水となり、周辺の岩石中の金属が熱水の中に溶け出します。火山活動に伴って熱水が海底付近まで上昇し冷却されると、中に溶け込んだ金属が沈殿し、鉱脈となったのです。加賀藩を支えた鉱山は、かつて日本列島が誕生した際の火山活動の恵みといえます。



下田金山跡

## ■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介していきます。



オーアイ工業株式会社

代表取締役社長 大愛高義

本社 / 〒937-0805 富山県魚津市本江850 Tel 0765-24-1000 Fax 0765-24-9292

### 会員を募集しています！

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。

※ 興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。か、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。

## 可能性は無限大



わたしたちは北酸です



北酸株式会社 代表取締役社長 山口 昌広

〒930-0029 富山市本町11番5号 TEL (076)441-2461 FAX (076)441-2358

グループ  
会社

■北酸高圧瓦斯株式会社 ■北酸物流株式会社 ■山口郵便通送株式会社  
■株式会社スフィード ■富山映画興業株式会社 ■株式会社釣工務店



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

